

## 令和7年度 第2回 岐阜県教育委員会教員育成協議会 議事概要

## 1 開催日時・場所

令和7年8月22日（金） 15:00～17:00

岐阜県総合教育センター 第1棟3階 第5研修室

## 2 協議事項

岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する指標（R3改訂）改訂案について等

## 【主な意見】

## 指標改訂案 「働き方改革」について

- 現行の校長の指標には「教職員の働き方改革のための組織マネジメントができる」となっているが、その他にも教育課程等のマネジメントも働き方改革の推進につながる。総じて「マネジメントできる」とするとよい。
- 校長の指標には、学校外の力も積極的に学校に取り入れ、学校をアップデートさせていくことを加えるとよい。
- 校長の「教職員への深い愛情」「職員に対する温かさ」について再整理するとよい。教職員に対しては、信頼や育成のビジョンをもつ意味合いを含む文言がよい。
- 教諭等が学校における教職員の働き方改革を意識し始めるキャリアステージを明確にし、指標に含めるとよい。協働の能力を高めるキャリアステージがよいと思われる。
- 校種間の一貫性をもたせながら、それぞれの校種の実態を踏まえた指標とするのがよい。
- 養護教諭、栄養教諭の改訂案については段階的になっていて分かりやすい。管理職が指導・助言する際に指標が活用できる。

## 指標改訂案 「特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応」等について

- 様々な環境での勤務の経験は、小中学校の教員だけでなく高等学校の教員にも意味あるものである。
- 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」「特別支援教育コーディネーター」の文言が加わったことで、誰が何をしなければならないか具体的になった。

## その他

- 教職員の研修機会は、総合教育センターでの研修受講、校内での授業公開、学校視察や研究会参加などがある。自己研鑽として参加しているが、教育研修課の「自ら学ぶ教職員支援事業」は、そうした学びを応援するものである。継続し拡充してほしい。